

A S - 3 5 5 1 G

取 扱 説 明 書

2016 年 05 月 10 日

第 1 . 0 3 版

山 下 シ ス テ ム ズ 株 式 会 社

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守って下さい。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。

注意

- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、磁気を帯びた物の近くで保管しないでください。
- 煙や異臭が発生した場合は、直ちに本製品の電源を切り、電源ケーブルも外してください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業を行なって下さい。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

製品保証

- 保証期間はご購入後 5 年間です。
- 本製品の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害の責については負いかねます。
- 保証期間中は、保証範囲に従って修理または交換させていただきます。
- 保証期間が過ぎている場合は、ご要望により有償修理させていただきます。ただし、不具合内容によっては修理不可能な場合があります。

以下の場合は保証期間内であっても有償または保証対象外となります。

- 納入後の輸送時の落下衝撃等により生じた故障・破損。
- 取扱説明書または納入仕様書に記載された警告/注意事項に反する取扱による故障・破損。
- 落雷・火災等の天災、災害による故障・破損。異常電圧、周波数等による故障・破損。
- 当社以外での修理または、改造。
- ソフトウェアのバグ・不具合による故障・破損。

はじめに

AS-3551G は、Intel GMA3600 内蔵の CPU、Intel Atom N2600 を搭載した 5 インチサイズのシングルボードコンピュータです。

ビデオ(Analog RGB & LVDS), Gb Ethernet, シリアル, USB, Keyboard / Mouse, SATA, CFast, Audio, mini PCIe, TTL レベルの D-I/O ポート(各 8bit)と、豊富なインターフェースを搭載しています。

本製品は、単一電源による駆動, 充実した I/O, 低消費電力といった特長により、幅広い応用が可能な組み込み CPU ボードとなっております。

◆ ◆ ◆ 個別製品名 ◆ ◆ ◆

AS-3551G/N2600(5V)

AS-3551G/N2600(12V)

AS-3551G/N2600(24V)

◆ ◆ ◆ 寸法図 ◆ ◆ ◆

D2400772.PDF AS-3551G 外形寸法図

D2400773.PDF AS-3551G コネクタ寸法図

D2400774.PDF AS-3551G パネル側寸法図

◆ ◆ ◆ 改版履歴 ◆ ◆ ◆

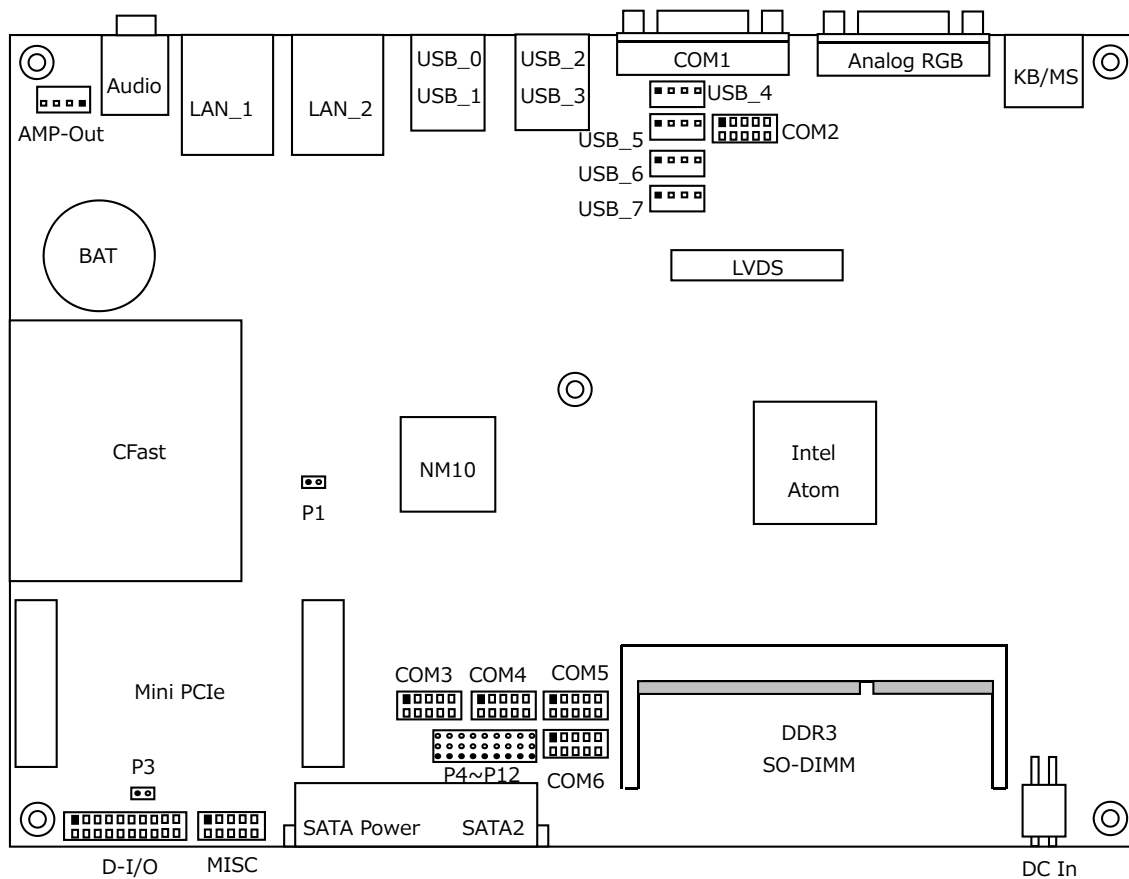
版数	発行日	事由
第 1.00 版	2015.10.30	初版
第 1.01 版	2015.11.05	誤字訂正
第 1.02 版	2016.02.26	LAN LED 誤記訂正
第 1.03 版	2016.05.10	P.8 誤記訂正

◆ ◆ ◆ 目 次 ◆ ◆ ◆

1	製品仕様	4
1-1	AS-3551G レイアウト	4
1-2	機能仕様	5
1-3	ブロックダイアグラム	6
1-4	電源仕様	7
1-5	環境仕様	7
1-6	構造仕様	7
2	コネクタ	8
2-1	背面パネルのコネクタ	8
2-2	内部のコネクタ	10
2-3	ジャンパー設定	19
3	SYSTEM UEFI	20
3-1	Main	21
3-2	Advanced	22
3-3	Security	32
3-4	Boot	32
3-5	Exit	33

1 製品仕様

1-1 AS-3551G レイアウト



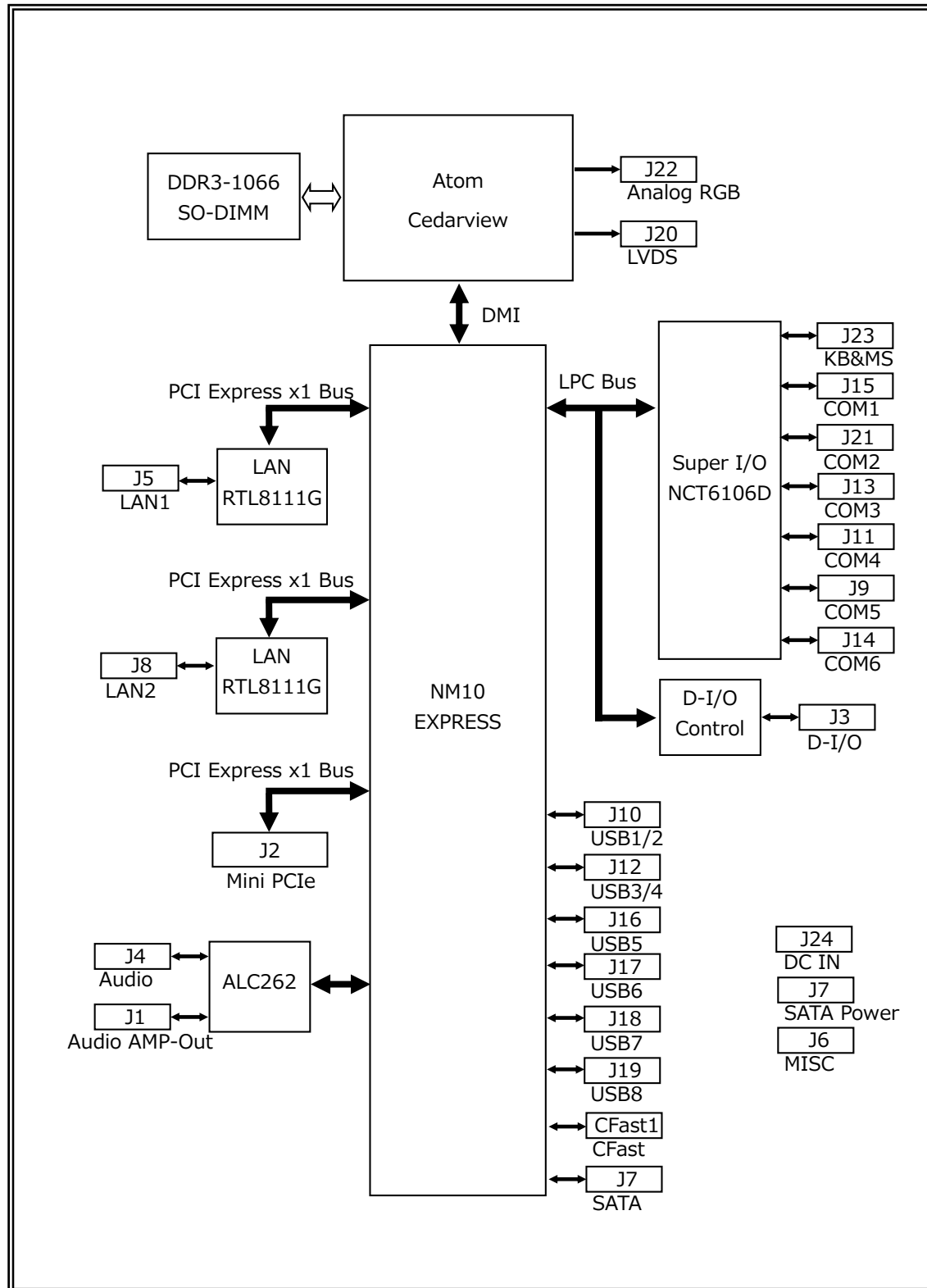
1-2 機能仕様

項 目	仕 様	
CPU	Intel Atom Processor N2600 (Cedarview) (下記参照)	
	L1 : 32KB x2 + 24KB x2 , L2 : 512KB x2	
Chip Set	Intel NM10 EXPRESS	
System Memory	DDR3-1066 PC3-8500 DDR3 SO-DIMM Max 4GB	
Video I/F	Processor Graphics	Intel GMA3600
	VRAM	Unified Memory
	表示方式(最大解像度)	Analog RGB(1920x1200)
		LVDS(1366x768)
Storage I/F	Intel NM10 EXPRESS	SATA2 3Gbps コネクタ x1
		CFast Socket x1
I/O I/F	Super I/O NCT6106D	Serial Port RS232C x5
		RS232C/422/485 x1
		Keyboard / Mouse
LAN I/F	Realtek RTL8111G	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T x2
Audio	Realtek ALC262 Codec	HD Audio
		HP Out, AMP Out
USB	Intel NM10 EXPRESS	USB2.0 (Back Panel x4, Header x4)
汎用入出力ポート	入力	8bit TTL
	出力	8bit TTL
BUS	Mini PCIe BUS x1	
MISC	Reset Switch, Power Switch	
	Power LED, HDD LED, Beep Out	
RTC & CMOS RAM	MC146818 コンパチブル	
	ボード上のリチウム電池にてバックアップ	

32nm Intel Atom Processor

Cedarview	Clock Speed	L2 Cache	Core	Graphics Clock	TDP	Memory
N2600	1.6GHz	512KB x2	2	400MHz	3.5W	DDR3-1066

1-3 ブロックダイアグラム



1-4 電源仕様

電源電圧	許容範囲	CPU	平均消費電流	瞬間最大消費電流
DC +5V	±5%	N2600	1.6A	2.00A
DC +12V	±10%	N2600	0.65A	0.85A
DC +24V	±5%	N2600	0.38A	0.56A

注 1 AS-3551G は DC +12V 単一電源駆動です。+5V,+24V はオプションとなります。

注 2 消費電流は下記条件における実測値です。

Windows XP にて負荷 100%のストレステストを実施中の実測値

消費電流に含まれる部材

本体(PC3-10600,4GB),PS/2 Keyboard,USB Mouse

平均消費電流は電源ラインをクランプ電流計にて測定

瞬間最大消費電流は電源ラインを電流プローブにて測定

- ※ 電源ユニットは、装置全体の消費電力を考慮し適切な容量の物をご使用ください。
大容量の電源ユニットの場合、装置全体の消費電力が少ないと電圧が正常に出力されない場合があり、誤動作の原因となる場合があります。
- ※ 電源ケーブルを本製品に接続してから、電源 ON にしてください。
電源 ON 状態にてケーブルを接続すると電圧スパイクが生じ本製品が破損する恐れがあります。

1-5 環境仕様

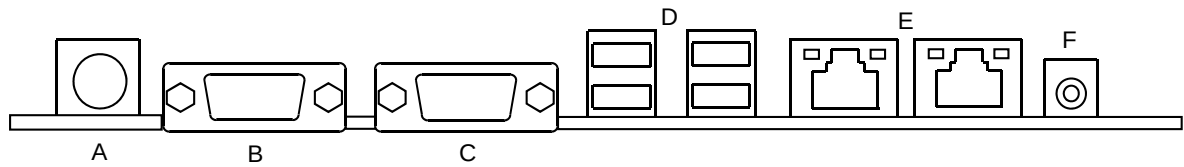
項 目	仕 様
使用温度範囲	0 ～ 60℃：筐体内の放熱対策が施されていること
湿度範囲	20 ～ 80%：結露せぬこと
腐食性ガス等	なきこと

1-6 構造仕様

項目	仕 様	
外形寸法	縦寸法	146mm：コネクタ張出部を含まず
	横寸法	203mm：コネクタ張出部を含まず
	高寸法	17mm：PCB 上面よりヒートシンク上面
重量	300g 以下（ヒートシンクを含む、メモリモジュールは除く）	
PCB 材質等	FR-4(ULVO)：1.6mm 厚	

2 コネクタ

2-1 背面パネルのコネクタ

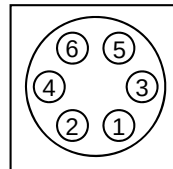


A PS/2 キーボードと PS/2 マウスポート(J23)

Keyboard / Mouse 接続用のコネクタです。

PS/2 キーボードと PS/2 マウスポート コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	K.B DATA
2	M.S DATA
3	GND
4	DC 5V+
5	K.B CLOCK
6	M.S CLOCK



B Analog RGB ポート(J22)

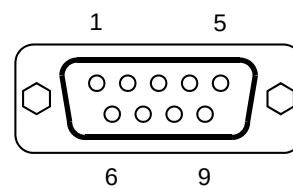
Analog RGB ディスプレイ接続用コネクタです。

C シリアルポート(J15)

PC 標準シリアルポート(COM1)です。

シリアルポート コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND		



D USB ポート(J10, J12)

USB デバイス接続用コネクタです。USB2.0/1.1 仕様をサポートしています。

E RJ-45 LAN ポート(J5, J8)

LAN 接続用コネクタです。ネットワークを 1000BASE で運用される場合には、エンハンスドカテゴリ-5(CAT5e)もしくは、カテゴリ-6(CAT6)のケーブルをご使用ください。

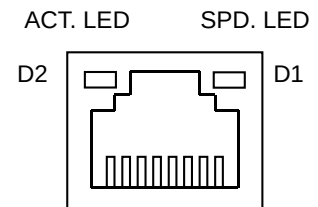
【 LED : D1, D2 について 】

コネクタの上部に配置されている LED : D1, D2 は以下の動作状態を表示しています。

D1 (緑色) : 1000BASE でリンクされている時に点灯

(橙色) : 100BASE, 10BASE でリンクされている時に点灯

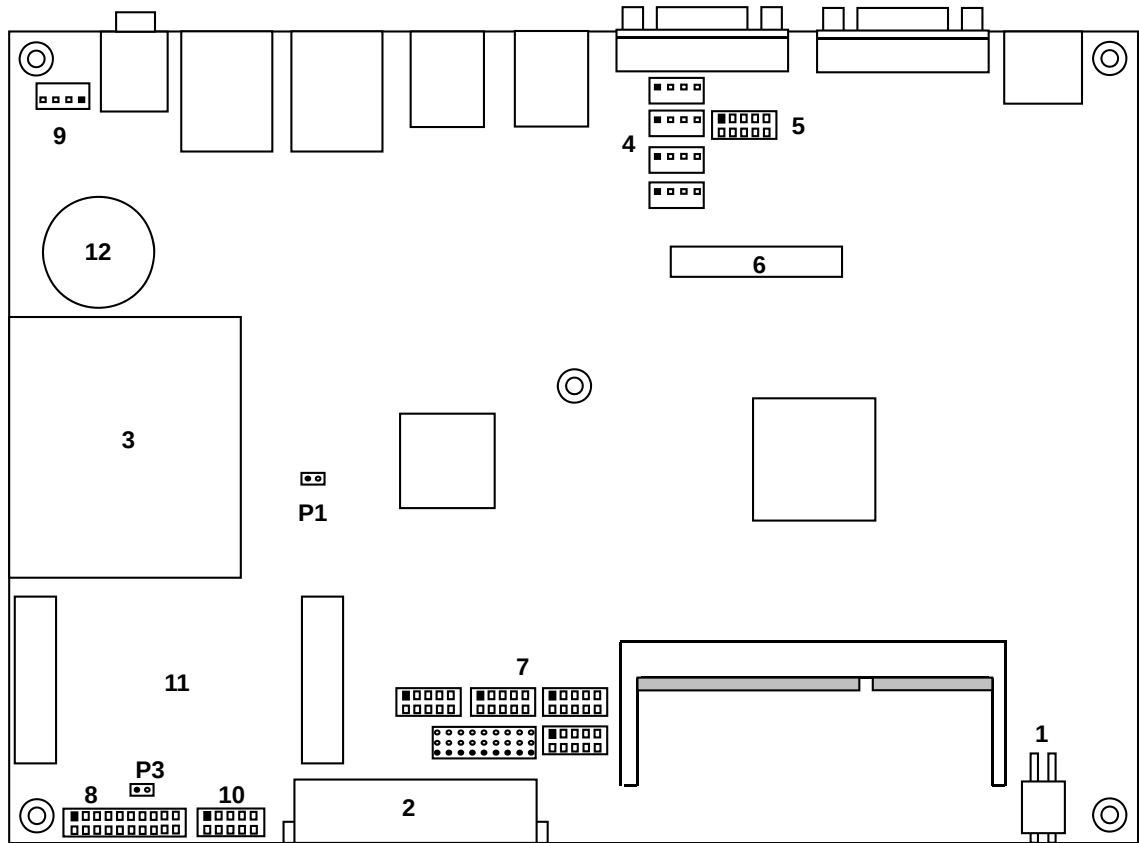
D2 (黄色) : アクティブ中に点滅



F ヘッドホンアウトジャック(J4)

HP-Out(緑)接続用のコネクタです。

2-2 内部のコネクタ



- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| 1) DC-in | 7) COM3~COM6 | P1 CMOS Clear |
| 2) SATA | 8) D-I/O | P3 起動モード設定 |
| 3) CFast | 9) Audio AMP Out | |
| 4) USB | 10) MISC | |
| 5) COM2 | 11) Mini PCIe | |
| 6) LVDS | 12) BATTERY | |

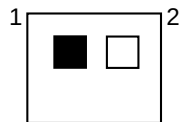
1) 電源入力コネクタ(J24)

電源入力コネクタからの電源供給によりシステムを起動することができます。

また、ご使用に関しては **1-4 電源仕様** をよくご覧ください。

電源入力コネクタ & ピン配列

No	信号名
1	DC +12V or 5V or 24V
2	GND



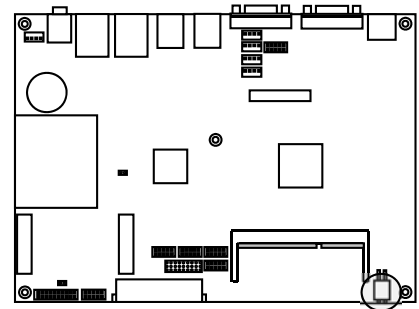
適合コネクタ

ハウジング : VHR-2N

日本圧着端子製造

コンタクト : SVH-41T-P1.1

日本圧着端子製造



2) SATA コネクタ(J7)

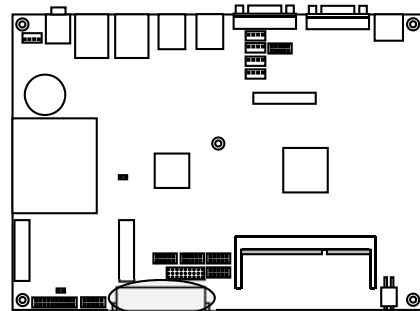
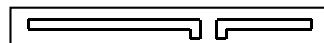
SATA 機器接続用コネクタです。

ボード上からの SATA 電源によりストレージ等を駆動することができます。

SATA コネクタ & ピン配列

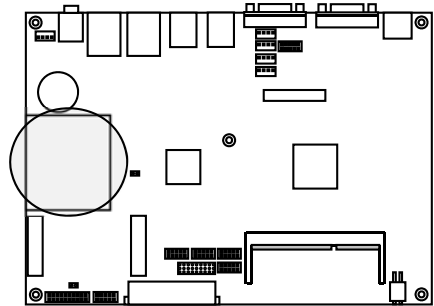
No	信号名
1	DC +3.3V
2	DC +3.3V
3	DC +3.3V
4	GND
5	GND
6	GND
7	DC +5V
8	DC +5V
9	DC +5V
10	GND
11	GND
12	GND
13	DC +12V
14	DC +12V
15	DC +12V

No	信号名
1	GND
2	Tx +
3	Tx -
4	GND
5	Rx -
6	Rx +
7	GND



3) CFast コネクタ(CFast1)

CFast 接続用コネクタです。システムの SATA に接続されています。



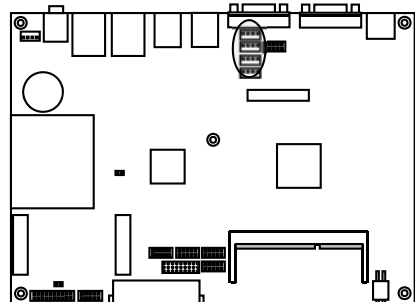
4) USB コネクタ(J16,J17,J18,J19)

USB コネクタは USB 2.0/1.1 仕様に準拠しています。

4Pin 2.00mm Pitch Box Header で出力されており、オプションのケーブル(XUSB0050)によりに変換する事ができます。(最大 4 ポート)

USB コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	DC +5V
2	USB -
3	USB +
4	GND



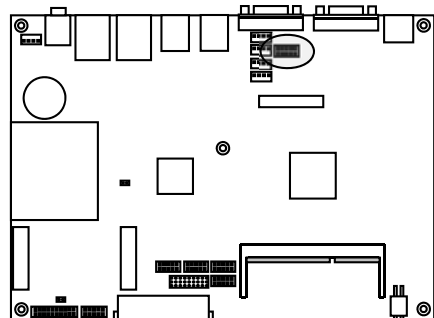
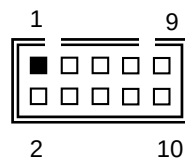
5) COM2 コネクタ(J21)

PC 標準シリアルポート(COM2)です。

10Pin 2.00mm Pitch Box Header で出力されており、オプションのケーブル(SL812226910)により Dsub 9 ピンに変換することができます。

COM2 コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DCD	2	DSR
3	RXD	4	RTS
5	TXD	6	CTS
7	DTR	8	RI
9	GND	10	NC

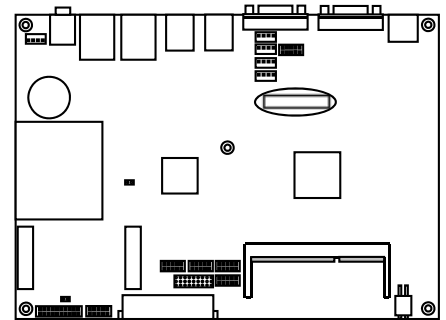
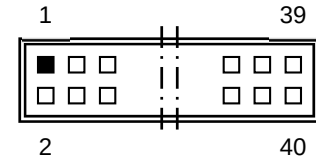


6) LVDS コネクタ(J20)

LVDS の LCD ケーブル接続用コネクタです。

LVDS コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DC +3.3V ※1	2	DC +12V ※2
3	DC +3.3V ※1	4	DC +12V ※2
5	GND	6	DC +5V ※2
7	GND	8	DC +5V ※2
9	LVDS D0-	10	GND
11	LVDS D0+	12	NC
13	GND	14	NC
15	LVDS D1-	16	GND
17	LVDS D1+	18	GND
19	GND	20	BKLT PWM
21	LVDS D2-	22	GND
23	LVDS D2+	24	BKL Enable
25	GND	26	GND
27	LVDS CLK-	28	GND
29	LVDS CLK+	30	P.U. 8.2K Ω (12V) ※3
31	GND	32	P.U. 8.2K Ω (12V) ※3
33	P.U. 680 Ω (3.3V) ※3	34	P.U. 8.2K Ω (5V) ※3
35	P.D. 620 Ω (0V) ※3	36	P.U. 8.2K Ω (5V) ※3
37	GND	38	P.D. 1K Ω (0V) ※3
39	GND	40	P.D. 1K Ω (0V) ※3



※1. LCD 用電源 DC+3.3V の供給電流上限は 2A となります。

※2. バックライト用電源

※3. P.U.:Pull Up , P.D.:Pull Down

適合電線 AWG26

定格電流 1A

適合コネクタ

ヘッダー : DF13A-40DP-1.25V ヒロセ電機株式会社

ハウジング : DF13-40DS-1.25C ヒロセ電機株式会社

コンタクト : DF13-2630SCFA ヒロセ電機株式会社

7) COM コネクタ(J9,J11,J13,J14)

COM コネクタは拡張シリアルポート(COM3~6)です。

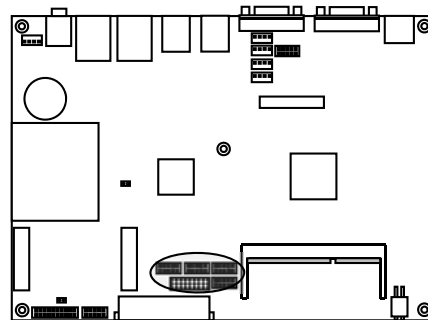
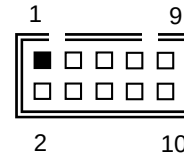
10Pin 2.54mm Pitch Box Header で出力されており、オプションのケーブル(SL812226910)により Dsub 9 ピンに変換することができます。

また J14 は RS232C/422/485(半二重)のうちどれか一つの通信方式を選択出来ます。

詳細は、後述のジャンパー設定を参照してください。

COM コネクタ&ピン配列(RS232C)

No	信号名	No	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND	10	NC



8) D-I/O コネクタ(J3)

TTL インターフェースの各 8bit の D-I/O ポートです。

出力信号はボード上にてラッチされています。

入力ポートには 74LS244 を使用し、8.2K Ω で +5V にプルアップされています。

出力ポートには 74LS244 を使用し、8.2K Ω で +5V にプルアップされています。

(74LS244: VOL=0.4V @IOL=16mA)

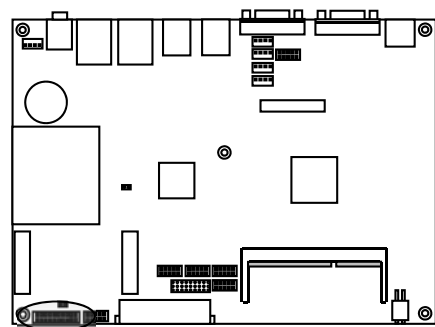
～ D-I/O ポートアドレス ～

入力ポート Din 7～0 : 01F8h

出力ポート Dout 7～0 : 01F8h

D-I/O コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DC +5V	2	DC +5V
3	Din 0	4	Dout 0
5	Din 1	6	Dout 1
7	Din 2	8	Dout 2
9	Din 3	10	Dout 3
11	Din 4	12	Dout 4
13	Din 5	14	Dout 5
15	Din 6	16	Dout 6
17	Din 7	18	Dout 7
19	GND	20	GND



適合コネクタ

ハウジング : DF11-20DS-2C

DF11-20DS-2R26(UL1061 AWG26)

コンタクト : DF11-2428SC(バラ端子、スズめっき)

DF11-2428SCA(バラ端子、金めっき)

ヒロセ電機株式会社

ヒロセ電機株式会社

ヒロセ電機株式会社

ヒロセ電機株式会社

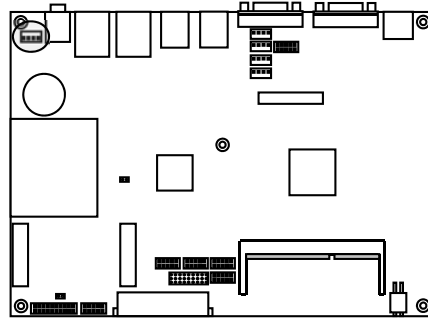
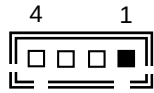
9) Audio AMP Out コネクタ(J1)

AMP-out 接続用コネクタです。

8Ω のスピーカーを接続することによって、ステレオ出力する事が出来ます。

Audio AMP out ステレオ出力(8Ω) コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	R+
2	R-
3	L+
4	L-



適合コネクタ

ヘッダー : B4B-PH-K-S 日本圧着端子製造

ハウジング : PHR-4 日本圧着端子製造

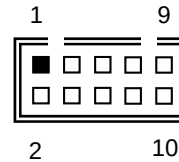
コンタクト : SPH-002T-0.5S 日本圧着端子製造

10) MISC コネクタ(J6)

各種補助端子を統合したコネクタです。

MISC コネクタ&ピン配列

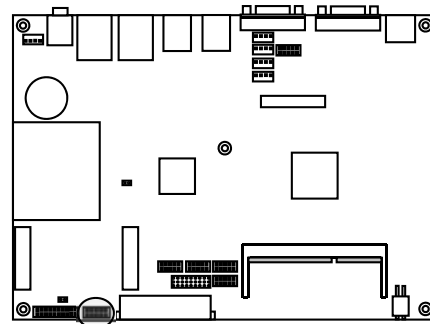
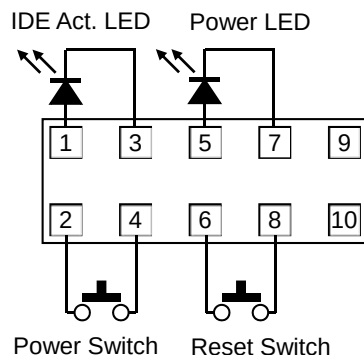
No	信号名	No	信号名
1	IDE Act. LED +	2	Power Switch +
3	IDE Act. LED -	4	Power Switch -
5	Power LED +	6	Reset Switch +
7	Power LED -	8	Reset Switch -
9	Reserve	10	Reserve



MISC コネクタ 信号詳細

信号名	詳細
Power LED +, -	+5V の電源 LED : システムに+5V が供給されると+から-に電流が流れます
IDE Act. LED +, -	HDD アクセス LED : HDD へのアクセス時、+から-に電流が流れます
Power Switch	ATX 電源の ON/OFF 端子 : この端子間を接続(ワン・パルス)する事により ATX 電源の ON/OFF が行えます。
Reset Switch	外部リセット入力 : この端子間を接続(ワン・パルス)する事によりシステムをリセットする事ができます。

MISC コネクタ 参考結線



適合コネクタ

ハウジング : DF11-10DS-2C

ヒロセ電機株式会社

DF11-10DS-2R26(UL1061 AWG26)

ヒロセ電機株式会社

コンタクト : DF11-2428SC(バラ端子、スズめっき)

ヒロセ電機株式会社

DF11-2428SCA(バラ端子、金めっき)

ヒロセ電機株式会社

11) Mini PCIe slot(J2)

Mini-PCIe カードを接続する事ができます。mSATA SSD は使用できません。

12) CMOS RAM & RTC バックアップについて

NM10 内に CMOS RAM と RTC を搭載しています。

この CMOS RAM と RTC は、ボード上のリチウム電池によりバックアップされています。

また、使用済み電池は地域の環境規則に従って処理する必要があります。

電池タイプ	コイン型リチウム電池
型式	CR2032
電池容量	220mAh
消費電流	5uA / Typ
計算寿命	$220\text{mA} \div 5\text{uA} \div 24\text{h} \div 365\text{d} \div 5.02\text{y}$
(計算上の寿命です。保証寿命では有りません。)	

2-3 ジャンパー設定

P1 CMOS Clear ジャンパー

CMOS RAM データをリセットする際に使用します。

CMOS Clear する場合は、電源 OFF 状態で 10 秒程度 SHORT してください。



P2 : 1-2:SHORT (CMOS Clear)

P2 : 1-2:OPEN (Normal Mode)

P3 起動モード設定

起動モードの切替はジャンパー : P3 で設定します。

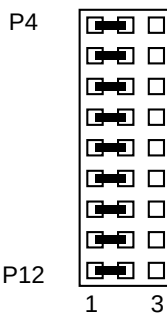
P3 ショートの場合はボードへの電力が供給されると起動します。

P3 オープンの場合はボードへの電力が供給され、MISC コネクタの Power Switch により起動します。

P4~P12 RS232C/422/485 切り替えジャンパー

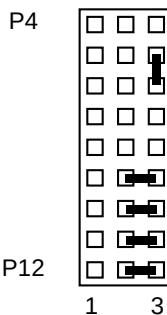
【 RS232C の設定 】

出荷時は、この RS232C の設定です。



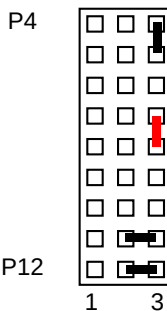
P4	1-2	P9	1-2
P5	1-2	P10	1-2
P6	1-2	P11	1-2
P7	1-2	P12	1-2
P8	1-2		

【 RS422 の設定 】



P4		P9	2-3
P5	3 と P6-3	P10	2-3
P6	3 と P5-3	P11	2-3
P7		P12	2-3
P8			

【 RS485 の設定 】



P4	3 と P5-3	P9	
P5	3 と P4-3	P10	
P6		P11	2-3
P7	*3 と P8-3	P12	2-3
P8	*3 と P7-3		

*終端有りの場合

3 SYSTEM UEFI

Phoenix SecureCore Tiano を搭載しています。

【 UEFI(BIOS)設定メニューへの移行 】

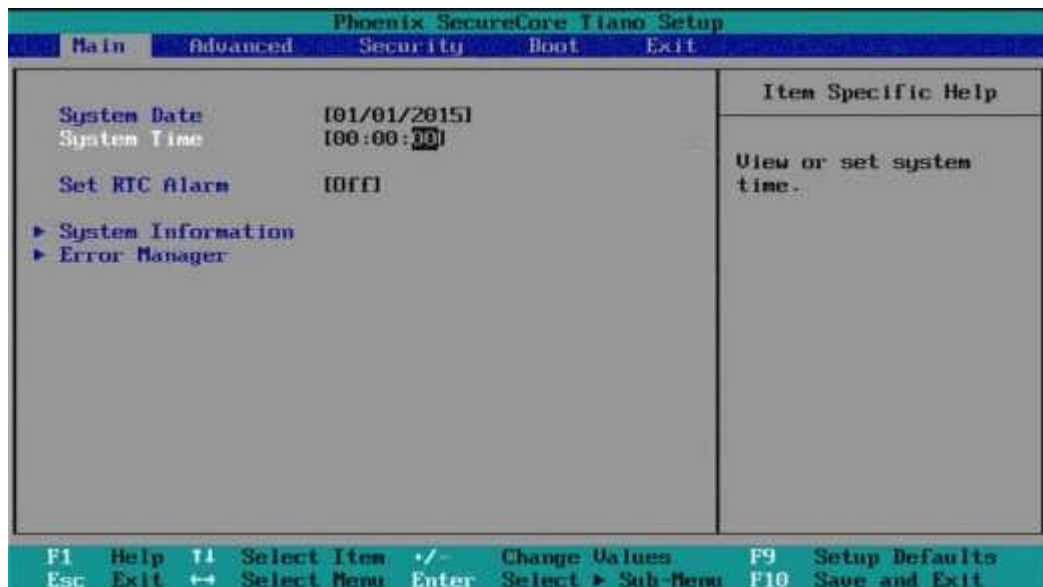
電源投入後下記画面が表示されている間に<F2>キーを押すと設定モードに移行します。

OS が起動してしまった場合は、再起動してやり直して下さい。

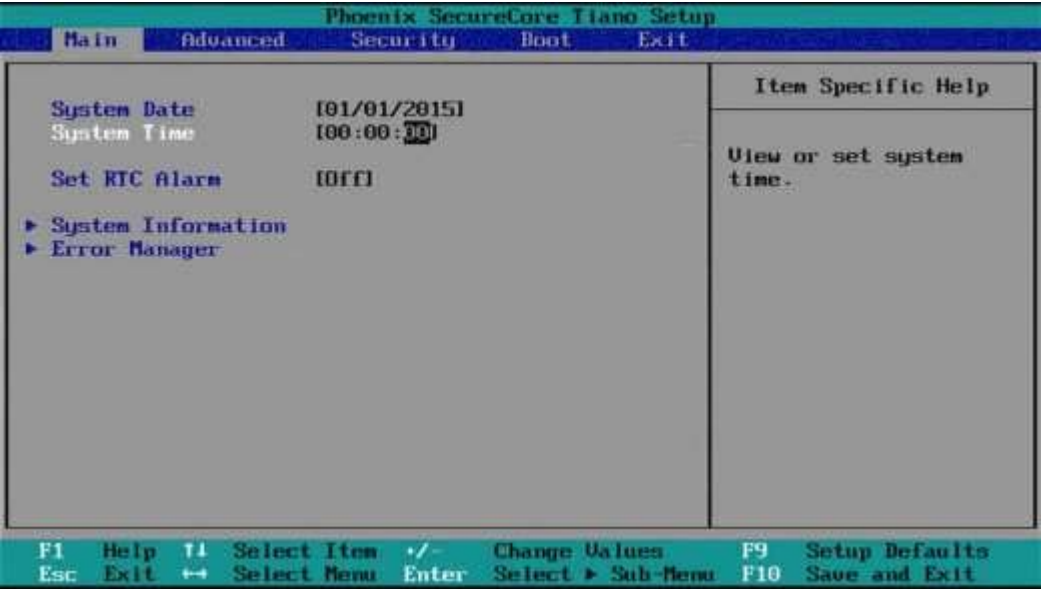
また、<F5>キーで起動デバイスを選択する事ができます。



UEFI(BIOS)の設定モード画面

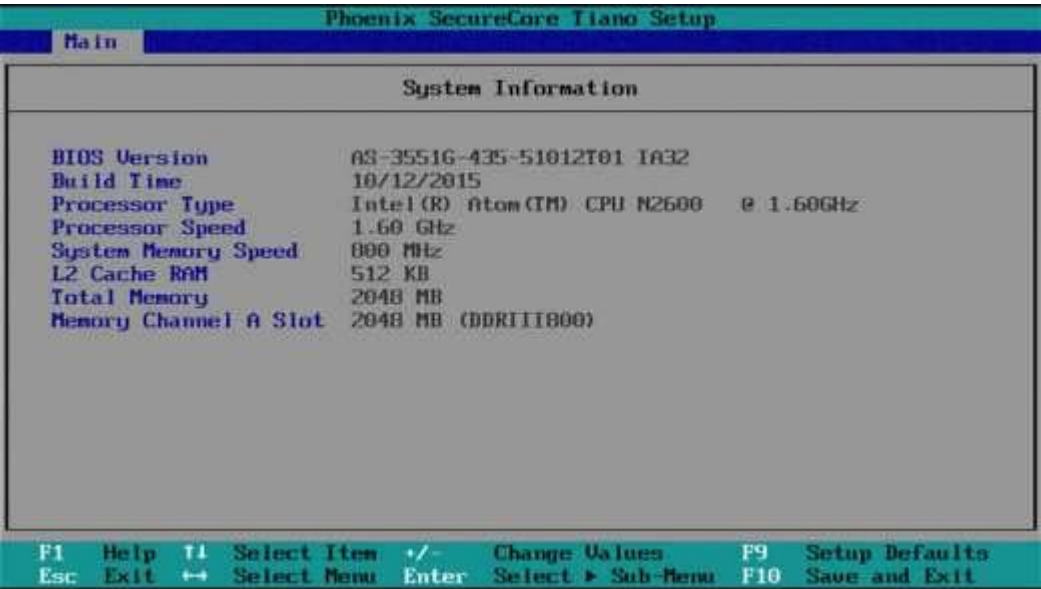


3-1 UEFI 設定 : Main

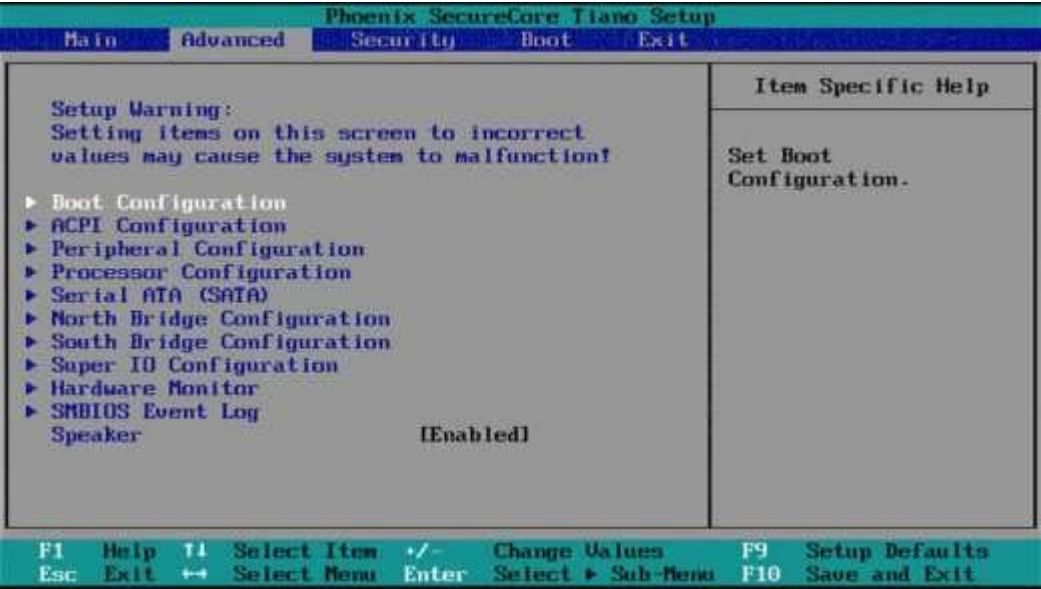


項目	説明
System Date	システムの日付設定をします。
System Time	システムの時刻設定をします。
Set RTC Alarm	設定した時刻に起動します。
System Information	システムの状態を確認します。
Error Manager	エラーメッセージの確認と消去をします。

System Information の一例

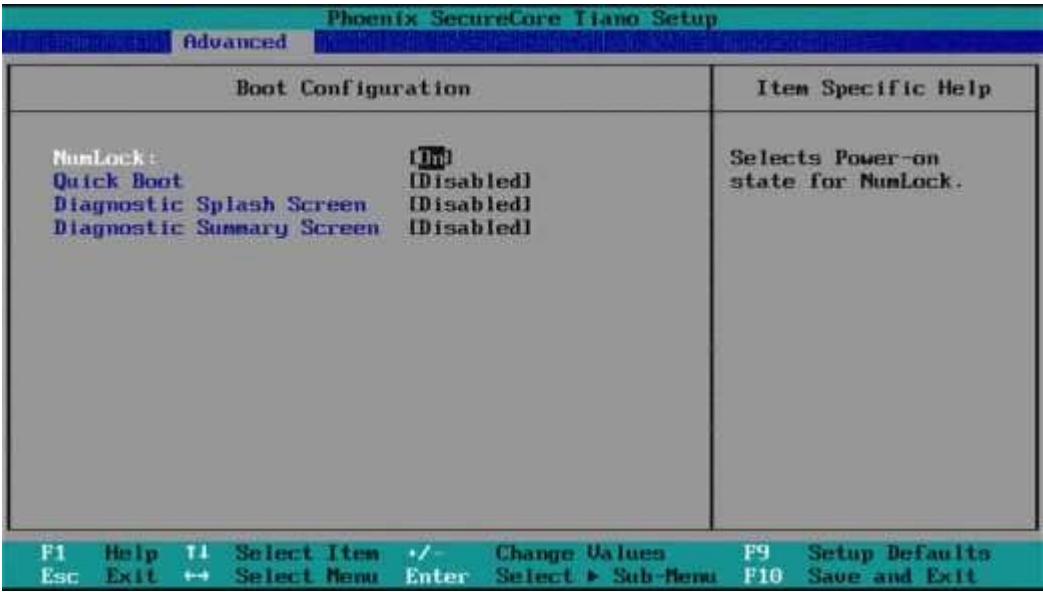


3-2 UEFI 設定 : Advanced



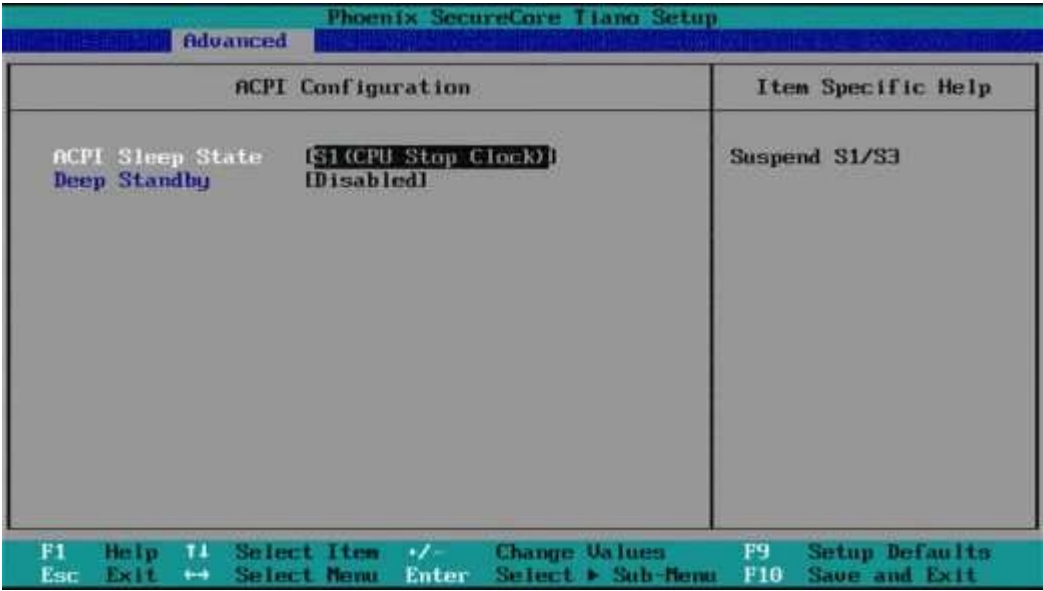
項目	説明
Boot Configuration	この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニューの設定画面になります。 詳細は次ページ以降を参照して下さい。
ACPI Configuration	
Peripheral Configuration	
Processor Configuration	
Serial ATA (SATA)	
North Bridge Configuration	
South Bridge Configuration	
Super IO Configuration	
Hardware Monitor	
SMBIOS Event Log	
Speaker	Beep 音の設定です。

3-2-1 UEFI 設定 : Boot Configuration



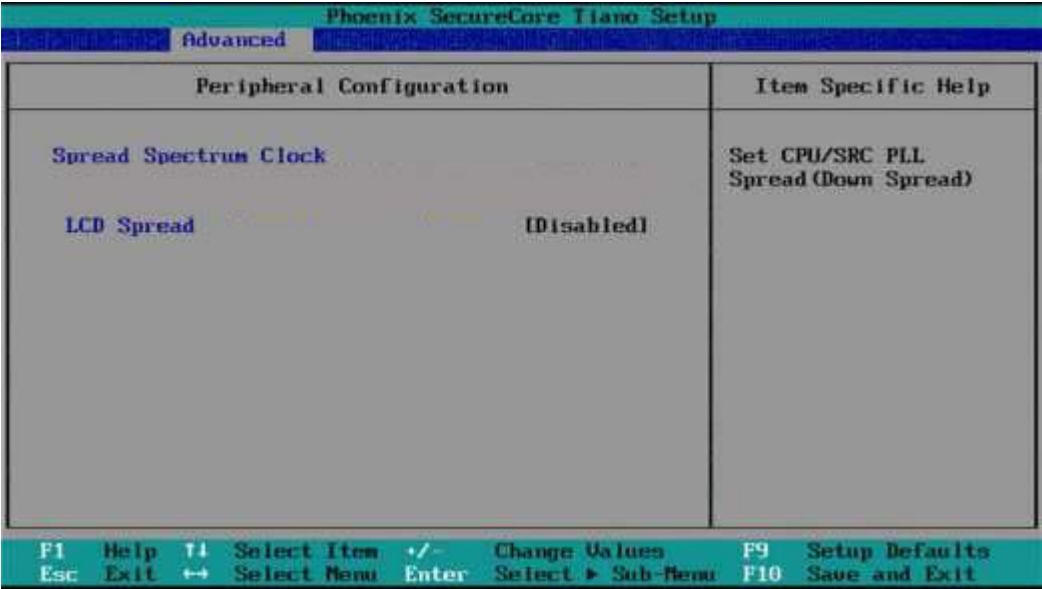
項目	説明
NumLock	起動時の NumLock キーの設定です。
Quick Boot	起動時間を短縮する設定です。
Diagnostic Splash Screen	起動時にポスト画面を表示する設定をします。
Diagnostic Summary Screen	起動時にサマリーを表示する設定をします。表示後キー入力待ちとなります。

3-2-2 UEFI 設定 : ACPI Configuration



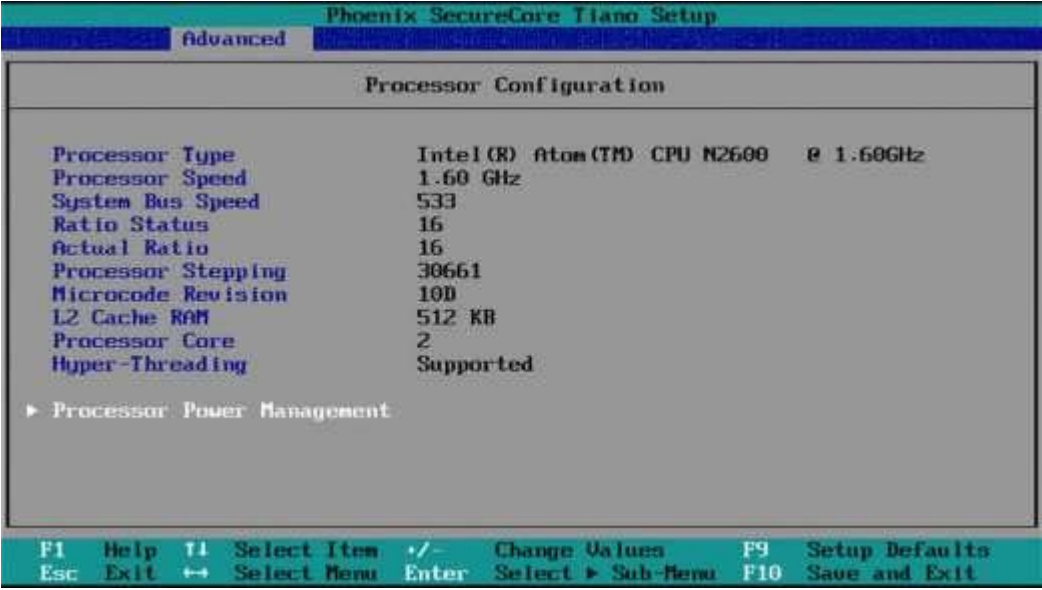
項目	説明
ACPI Sleep State	スリープ時の設定です。
Deep Standby	スリープ時の深さを設定します。

3-2-3 UEFI 設定 : Peripheral Configuration



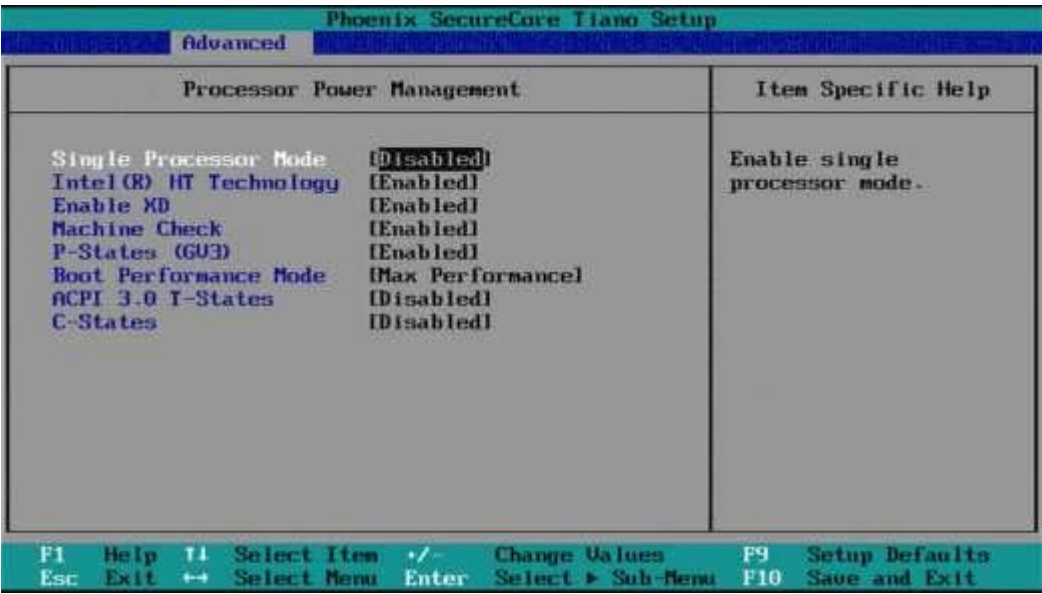
項目	説明
LCD Spread	スペクトラム拡散の設定です。

3-2-4 UEFI 設定 : Processor Configuration



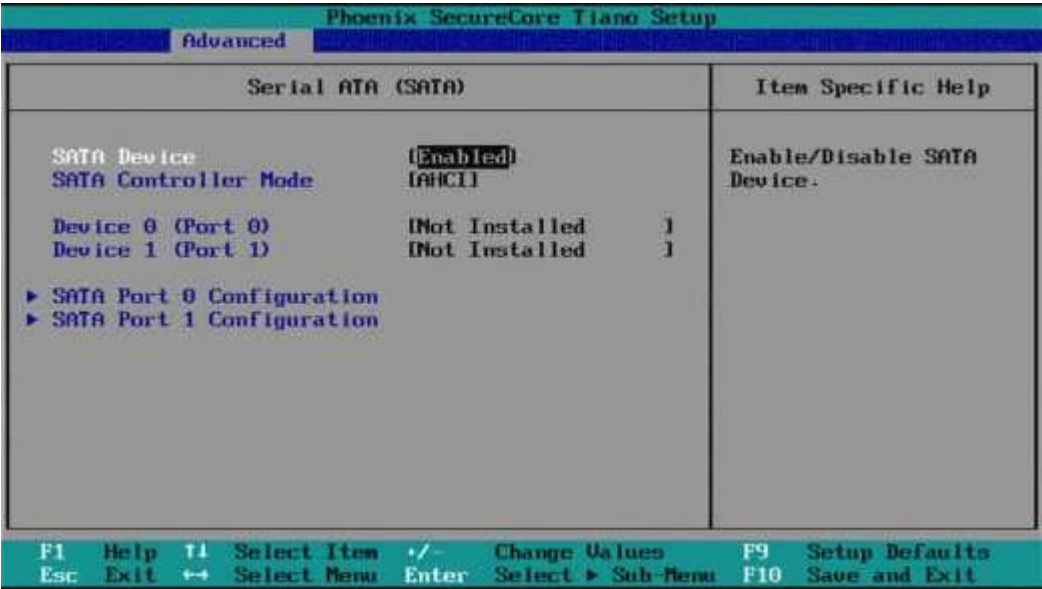
項目	説明
Processor Power Management	この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニューの設定画面になります。詳細は次ページ以降を参照して下さい。

3-2-4-1 UEFI 設定 : Processor Power Management



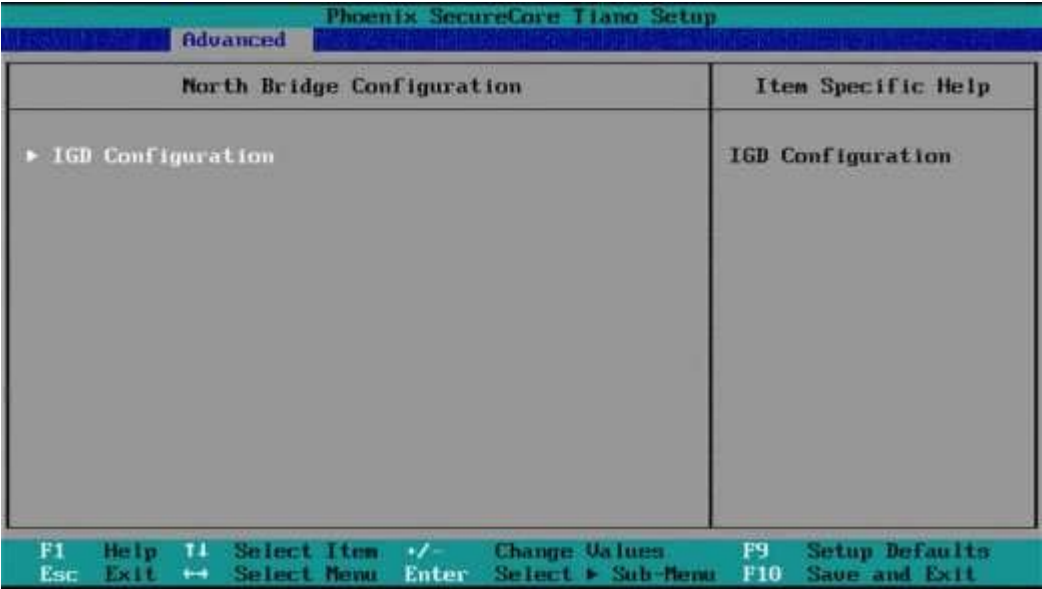
項目	説明
Single Processor Mode	シングルコア動作を意図的に行う場合の設定です。
Intel(R) HT Technology	ハイパースレッディング機能の ON/OFF の設定をします。
Enable XD	eXecute Disable bit の設定をします。
Machine Check	CPU の自己診断機能の ON/OFF の設定をします。
P-States(GV3)	負荷に応じて動的にクロック・電圧を変える設定です。
Boot Performance Mode	起動時の CPU クロック周波数の設定をします。
ACPI 3.0 T-States	CPU のサーマルコントロール機能の設定です。
C-States	CPU の省電力機能の設定をします。

3-2-5 UEFI 設定 : Serial ATA (SATA)



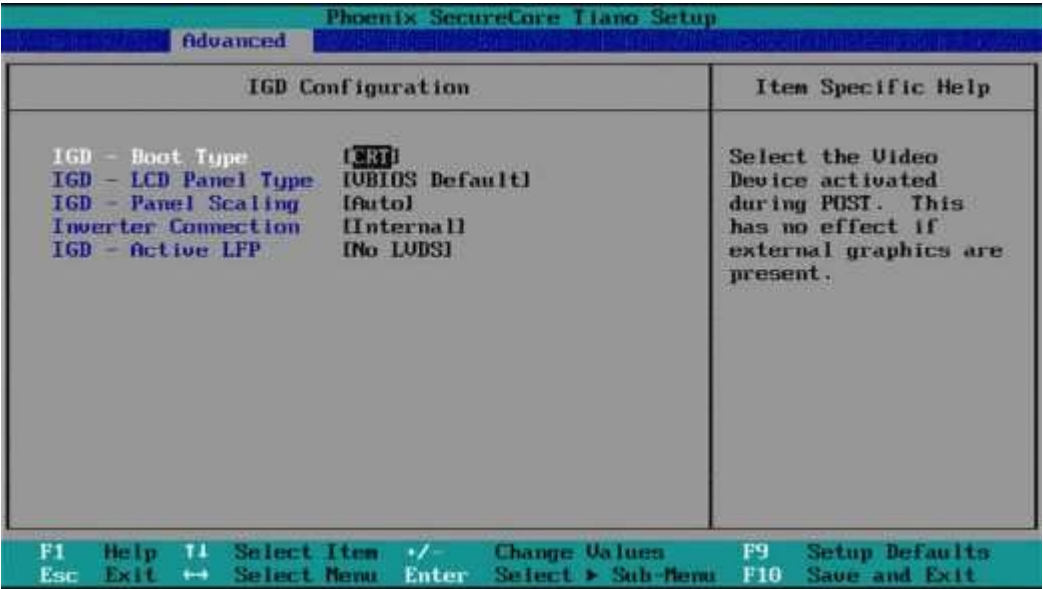
項目	説明
SATA Device	SATA デバイスの設定をします。
SATA Controller Mode	SATA デバイスのコントロールモードの設定をします。

3-2-6 UEFI 設定 : North Bridge Configuration



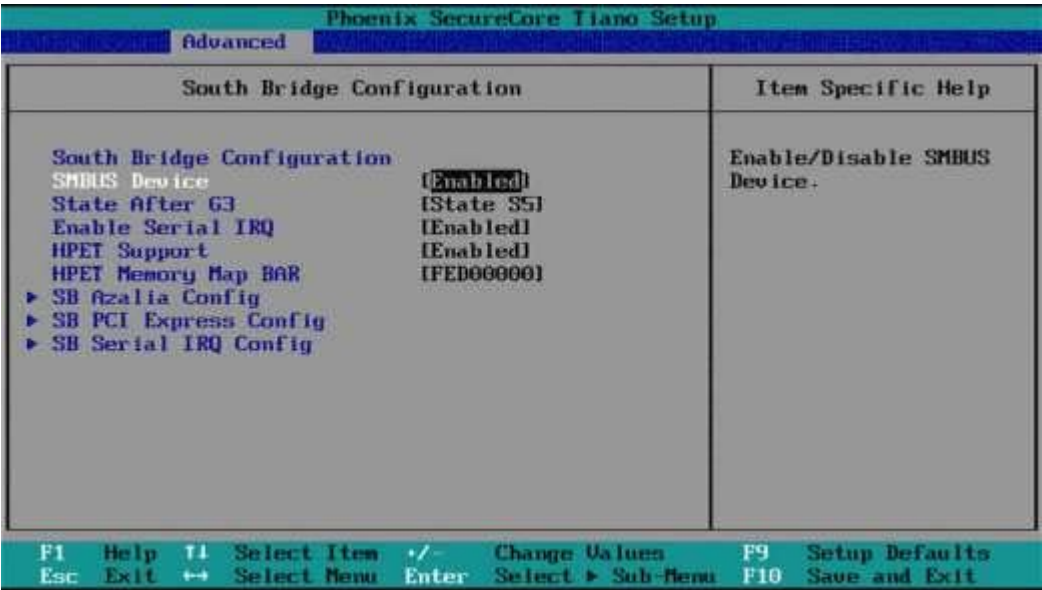
項目	説明
IGD Configuration	この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニューの設定画面になります。 詳細は次ページ以降を参照して下さい。

3-2-6-1 UEFI 設定 : IGD Configuration



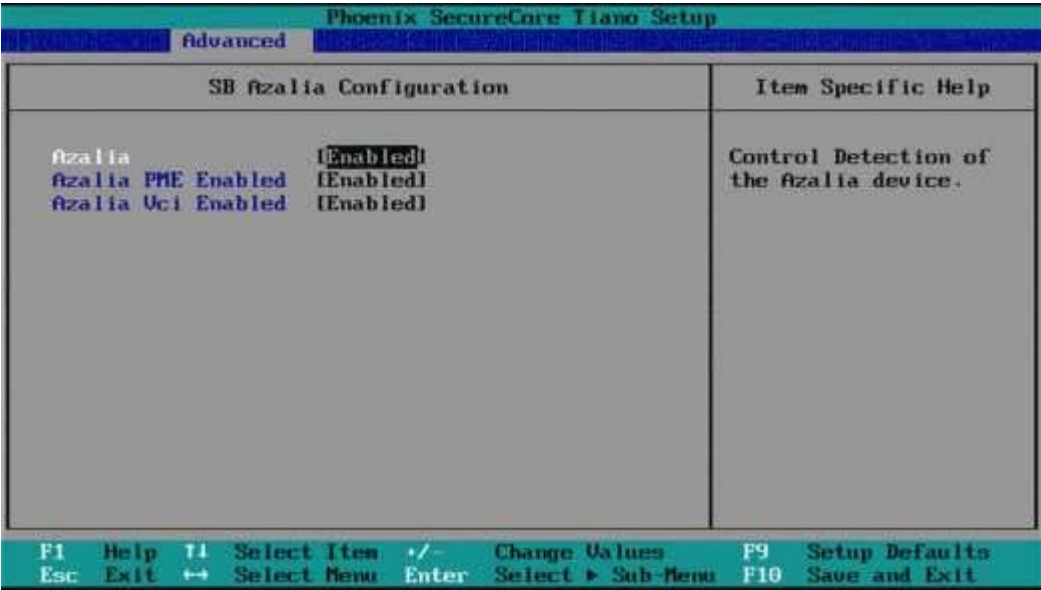
項目	説明
Boot Type	起動時に有効にしたいディスプレイデバイスを設定します。
LCD Panel Type	接続する LVDS の解像度に合わせて設定して下さい。 接続しない場合はデフォルト値でご使用下さい。
Panel Scaling	デフォルト[Auto]でご使用下さい。
Inverter Connection	本製品では使用出来ません。
Active LFP	LVDS 使用時に設定します。

3-2-7 UEFI 設定 : South Bridge Configuration



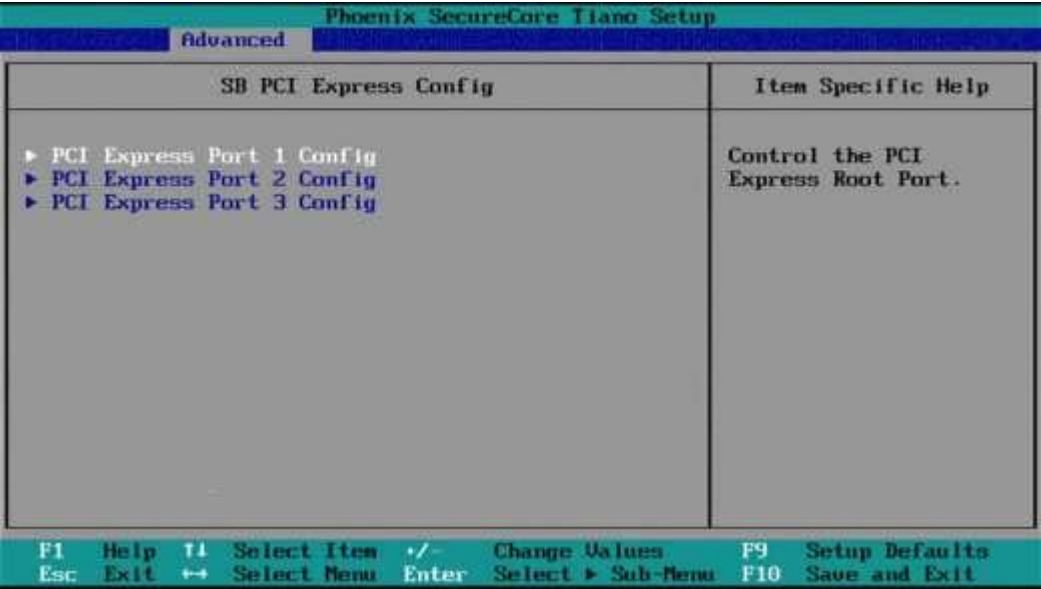
項目	説明
SMBUS Device	SMBUS の設定をします。
State After G3	本製品ではジャンパーP3 で動作します。
Enable Serial IRQ	シリアル IRQ の設定をします。
HPET Support	High Performance Event Timer の設定をします。
HPET Memory Map BAR	メモリマップ上の IO 番地を設定します。
SB Azalia Config	この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニューの設定画面になります。 詳細は次ページ以降を参照して下さい。
SB PCI Express Config	
SB Serial IRQ Config	

3-2-7-1 UEFI 設定 : SB Azalia Configuration



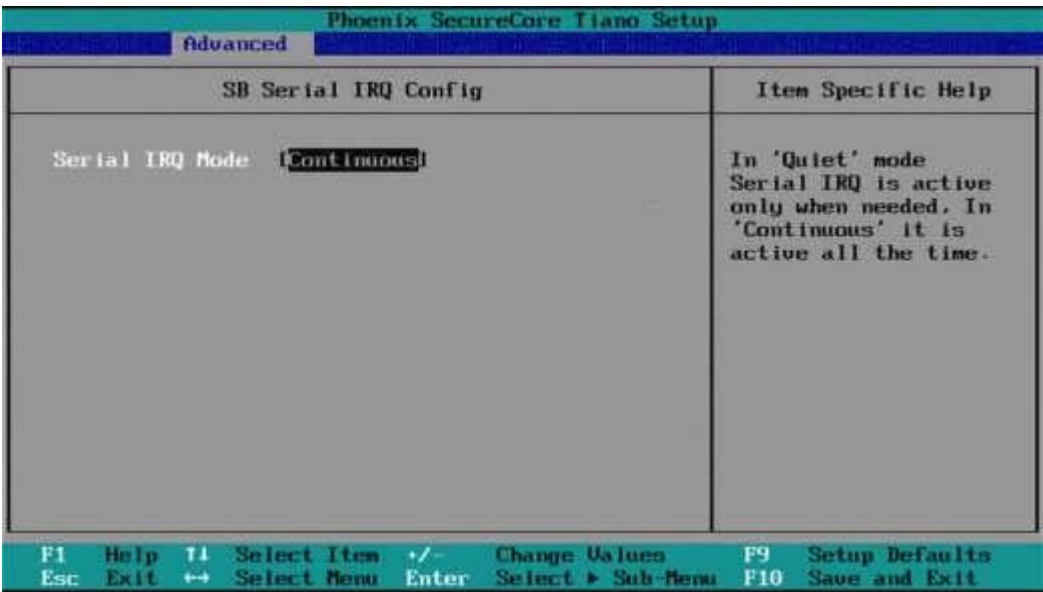
項目	説明
Azalia	Azalia(HD Audio)の設定をします。
Azalia PME Enabled	オーディオコントローラの電源管理機能を設定します。
Azalia Vci Enabled	Azalia Vci の設定をします。

3-2-7-2 UEFI 設定 : SB PCI Express Config



オンボード LAN や miniPCIe を無効にしたい場合、本項目で設定します。

3-2-7-3 UEFI 設定 : SB Serial IRQ Config



通常はデフォルト値でご使用下さい。

3-2-8 UEFI 設定 : SIO Configuration



項目	説明
Serial Port 1-6	特定番地に対する割り込み要求を設定します。
PowerLoss	本製品ではジャンパーP3 で動作します。

3-2-9 UEFI 設定 : Hardware Monitor

Phoenix SecureCore Tiano Setup									
Advanced									
Hardware Monitor						Item Specific Help			
SYSTIN Temperature : 139 degrees centigrade						Hardware Monitor.			
CPUTIN Temperature : 144 degrees centigrade									
VCC3V : 13.328 V									
AVCC : 13.328 V									
USB3V : 13.296 V									
VBAT : 13.200 V									
CPUVCORE : 11.040 V									
VIN1 : 15.040 V									
VIN2 : 11.496 V									
F1	Help	F1	Select Item	+/-	Change Values	F9	Setup Defaults		
Esc	Exit	↔	Select Menu	Enter	Select ▶ Sub-Menu	F10	Save and Exit		

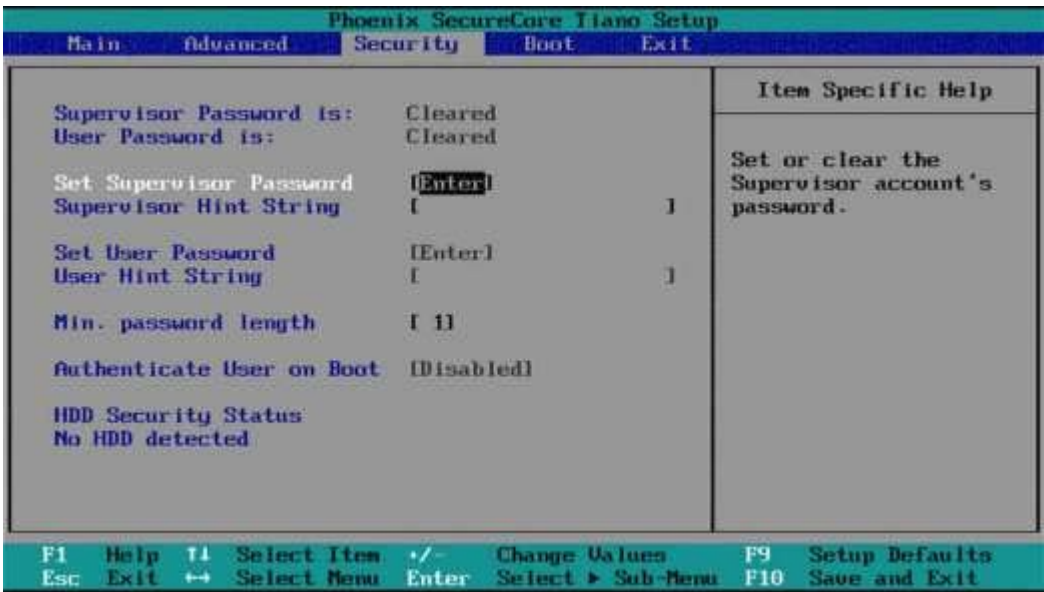
ハードウェア情報を表示します。

3-2-10 UEFI 設定 : SMBIOS Event Log

Phoenix SecureCore Tiano Setup									
Advanced									
SMBIOS Event Log					Item Specific Help				
Event Log Validity		Valid			Enable/Disable Event Log.				
Event Log Capacity		Space Available							
Event Log		[Enabled]							
View SMBIOS event log		[Enter]							
Mark SMBIOS events as read		[Enter]							
Clears SMBIOS events		[Enter]							
F1	Help	F1	Select Item	+/-	Change Values	F9	Setup Defaults		
Esc	Exit	↔	Select Menu	Enter	Select ▶ Sub-Menu	F10	Save and Exit		

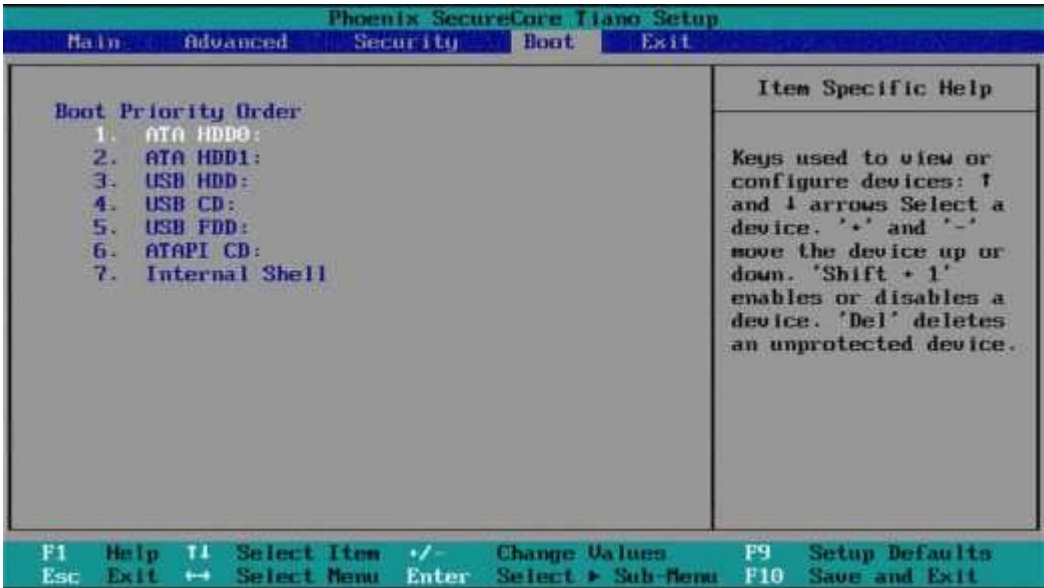
System Management BIOS のログに関する設定項目です。

3-3 UEFI 設定 : Security



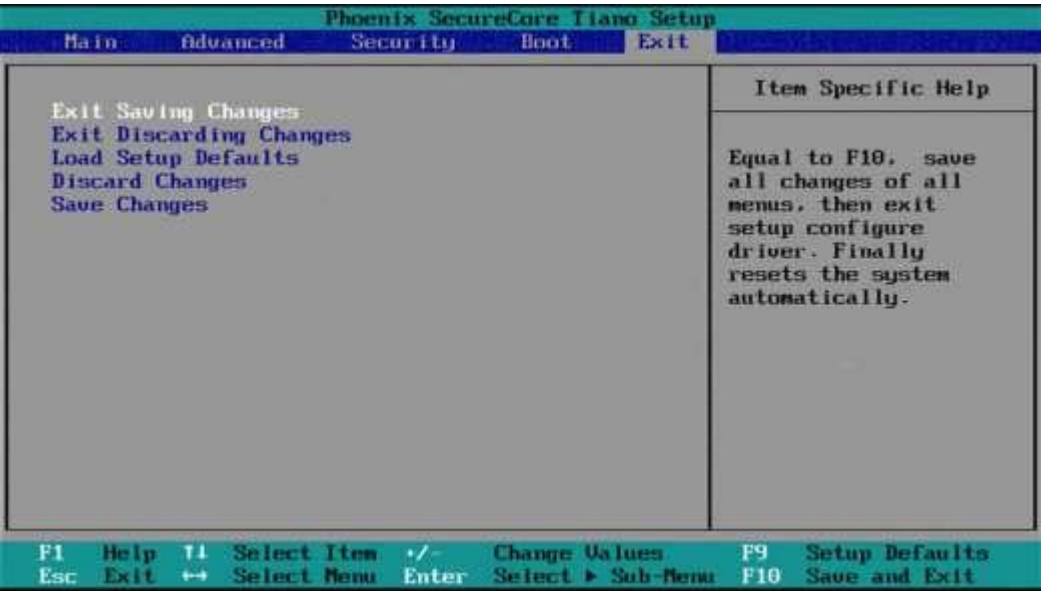
項目	説明
Set Supervisor Password	スーパーバイザーアカウントパスワードを設定もしくはクリアします。
User Hint String	パスワードのヒントを設定、表示します。
Min. password length	パスワードの最小文字数を設定します。

3-4 UEFI 設定 : Boot



起動順序の設定項目です。
また、起動時に<F5>キーで起動デバイスを選択する事ができます。

3-5 UEFI 設定 : Exit



項目	説明
Exit Saving Changes	設定内容を保存して終了します。
Exit Discarding Changes	設定内容を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	設定内容を工場出荷時に戻します。
Discard Changes	変更した内容を元に戻します。
Save Changes	設定内容を保存します。